

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
106-260	中学校	技術・家庭	技術分野	第1～3学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		

1. 編修の基本方針

教育基本法第2条の内容をふまえ、幅広い知識と教養を身に付け、技術的能力と創造性を養い、自主的・協力的に活動に参画し、生命の尊さと環境保全に寄与する態度を養い、今後の国際社会の発展に寄与する人材を育成する内容にしました。令和5年度の検定で指摘された箇所（検定申請受理番号105-110）を修正するとともに、新たな内容を加筆しました。

2. 対照表

(例)

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	ガイダンスでは、学習の目標を明確にするほか「日本のイノベーション」で豊かな情操と道徳心を培うことができるよう配慮しました。また、各章において技術に関する幅広い知識を身に付ける内容にしました。	4～19 ページ (ガイダンス) 6～7 ページ (日本のイノベーション) 20～65 ページ 材料と加工の技術 78～100 ページ (生物育成の技術) 128～166 ページ (エネルギー変換の技術) 182～212 ページ (情報の技術)
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	生活や社会の中で、技術で解決できる問題を見出し、課題を設定し、構想・設計、製作・制作・育成、評価・改善する態度を養うことができるよう、技術による問題解決のページを設けました。	66～73 ページ (材料と加工の技術) 101～121 ページ (生物育成の技術) 167～178 ページ (エネルギー変換の技術) 213～232 ページ (情報の技術)
	製作・制作・育成例の選定にあたっては、教科書の記述内容と学校現場で実際に使われている題材に関連させているほか、個人のアイデアを生かした設計・製作を通して、創造力とイノベーション力を培うことができるよう配慮しました。	65、67～73 ページ (材料と加工の技術) 106～111 ページ (生物育成の技術) 153、162～166、168～178 ページ (エネルギー変換の技術) 203～207、214～220、222～232 ページ (情報の技術) 241～251 ページ (夢をかなえる技術【統合的な学習】)
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう、「技術の概念を理解しよう」と「技術の将来について考えよう」のページを設けました。	74～77 ページ (材料と加工の技術) 122～125 ページ (生物育成の技術) 179～181 ページ (エネルギー変換の技術) 233～239 ページ (情報の技術)

第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	木材の生産と森林の保全、生物の栽培・飼育、エネルギー資源と環境問題などを通して、生命の尊び環境保全に寄与する態度を養うことに配慮しました。	74～77 ページ（材料と加工の技術） 78～127 ページ（生物育成の技術） 128～180 ページ（エネルギー変換の技術）
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	現在の生活が先人の知恵と技術の継承の上に成り立っていることに触れつつ、新しい技術について考えさせるなど、これからの国際社会の発展に寄与する態度を養うことに配慮しました。	6～7 ページ（日本のイノベーション） 21 ページ（法隆寺と東京スカイツリーの制振技術） 35 ページ（包丁の構造） 44～60 ページ（工具・工作機械） 75、124～127、179～181、237～239 ページ（技術の将来について考えよう）

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

ものづくりの経験がない生徒のために導入題材の製作・制作・育成をした後、本題材を用いた設計・計画⇒製作・制作・育成⇒評価・改善の学習ができる構成にしました。また、学習用端末（1人1台端末）を用いた製図（3Dモデリング）、電気回路の設計とシミュレーション、プログラミングの内容にしました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
106-260	中学校	技術・家庭	技術分野	第1～3 学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ① 実習例については、中学校現場で使われている題材を取り上げ、教科書の記述内容と関連させる内容にしました。
- ② 学習指導要領に示されている「目標」と「内容」に基づき、中学生が技術分野に興味を持ち、自ら意欲的に学習に取り組めるように配慮しました。
- ③ 問題の発見、課題の設定、構想・設計、製作・制作・育成、評価・改善のプロセスを重視した内容にしました。
- ④ 学習指導要領の内容を確実に取得できるように、記述と画像・図形を「見やすい」「目移りしない」「理解しやすい」すっきりとしたレイアウトにしました。
- ⑤ 技術分野の学習過程と、学習指導要領の各内容について、以下の流れを意識した学習用端末（1人1台端末）を用いた、コンピュータによる製図(3Dモデリング)、電気回路の設計、プログラムの設計の流れを意識した内容にしました。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第1章 ガイダンス	3. 内容の取扱い (5)ウ	p.4～19	3
第2章 材料と加工の技術	A(1)～(3)	p.20～77	23
第3章 生物育成の技術	B(1)～(3)	p.78～127	18
第4章 エネルギー変換の技術	C(1)～(3)	p.128～181	23
第5章 情報の技術	D(1)～(3)	p.182～239	19
第6章 夢をかなえる技術 (統合的な学習)	3. 内容の取扱い (6)ウ	p.240～251	1.5
		計	87.5

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
106-260	中学校	技術・家庭	技術分野	第1～3 学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の 取扱いに示す事項	ページ数
p.26	製鉄について	2		1
p.136	LED の構造	1		0.75
合 計				1.75

4 「類型」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述について、以下の分類により該当する記号を記入する。

- ・ 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容…… 1
- ・ 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容…… 2

常用漢字以外の使用漢字一覧表

漢字の下は初出のページ

崎	垢	庇	韃	鎗	銃	碗	挽
7	13	21	22	26	27	30	47
楊	噌	醬	橙	脆			
58	123	123	136	196			

出典一覧表

申請図書			出典				備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等
9	スケールモデル（プラスチックモデル）を製造している企業でのものづくりの例	写真					
21	五重塔と東京スカイツリーの心柱制振	図					アルミワールドWebサイト
34	カーボンナノチューブ	図					産業技術総合研究所のカーボンデバイス研究センターWebサイト
77	日本の森林蓄積の推移	グラフ					2022 年 林野庁 Web サイト(統計情報)
92	人工林(2 種)	写真					林野庁 Web サイト
96	養殖技術	図					農林水産省 Web サイト
125	世界と日本の食料自給率	グラフ					2022 年 農林水産省 Web サイト「世界の食料自給率」
130	火力発電の基本構造	図					電気事業連合会 Web サイト
131	水力発電の例	図					電気事業連合会 Web サイト

133	日本の電気の周波数	図							東京電力(株)Web サイト
151	アース	図							九州電気保安協会 Web サイト
180	日本の化石燃料依存度	グラフ						2021 年	資源エネルギー庁 Web サイト「総合エネルギー統計」
193	データ通信	図						2019 年	総務省 Web サイト「平成の情報化に関する調査研究」
195	知的財産の種類	表							特許庁 Web サイト「知的財産権について(2)知的財産権の種類」
235	システムトラブルの事例	表						2019 年	独立行政法人情報処理推進機構 Web サイト「2019 年後半の情報システム障害データ」

備考 4 の内容について確認しました。

